

羽村市 消費生活センターだより

No.384 2021年4月1日 羽村市消費生活センター運営委員会発行
羽村市緑ヶ丘5-1-30 TEL (042) 555-1111 ㊦ 640



いまが旬

緑のカーテン
エコカーテン

自然の力を活用した夏場の省エネ対策。お部屋を涼しく、花や実も楽しめます。緑の色は目にも優しく、精神的リラックス効果も。苗の準備は今は旬！

くらしのアンテナ



バイオガス発電所 in 羽村

多摩地域としては初のバイオガス発電所（株式会社西東京リサイクルセンター）が、羽村市緑ヶ丘3丁目にできました。どんな施設なのでしょう。

- Q バイオガス発電って何？
A 家畜の糞尿・食品廃棄物・下水道汚泥などの有機ゴミをタンク内で発酵させて可燃性のバイオガスを取り出し、そのガスでガスエンジン発電機をまわして発電すること。羽村工場では原料の100%が食品廃棄物。
- Q 現在の、原料の調達は？
A 関東地方各地の企業（製パン工場、弁当工場など）より調達。
- Q 羽村市民の生ごみも利用されているの？
A 市が回収している可燃ごみは、生ごみ以外の物も混ざっているため、現在は利用されていない。
※羽村市の可燃ごみ重量のうち生ごみは約6割強（令和元年12月調査）
- Q 発電規模は？
A 約850万kwh/年。一般家庭の約1550世帯分相当（1家庭5500kwh/年で試算）。
- Q 作られた電気はどうなる？
A 電力会社に売電。
将来、電気の地産地消を期待したいところ。
- Q ガスを作ったあとの発酵残さは？
A 雑草種子や病原菌が含まれない安全な肥料として近隣農家に利用してもらうことで、資源の循環を目指している。

「食品廃棄物」を『焼却』から『リサイクル』に変えるバイオガス発電は有効な施策と言えるでしょう。しかし、消費期限前のお弁当が、そのまま廃棄されてしまう現実には心が痛みます。

日本の食品ロスは年間612万トン。2億人の飢餓を解決できる量に相当します。食品廃棄物の有効利用を考えつつ、食べ物を粗末にしないという基本は常に心しておきたいと思うのです。



消費生活センター相談室からのお知らせ



新型コロナウイルス感染症に関連した消費者トラブルや悪質商法にご注意ください。

相談事例
①

自治体を名乗って、「新型コロナウイルスの予防接種に〇〇万円かかります。書類を送ります。」と電話があった。

相談事例
②

「新型コロナワクチンが接種できる。後日全額返金されるので10万円を振り込むように。」と電話があった。

アドバイス

行政機関が新型コロナウイルスのワクチン接種の名目で金銭を要求する電話をかけることはありません。ワクチン接種は全額公費負担となるので無料です。

また、個人情報を聞かれるケースも考えられますが、市が電話やメールで個人情報を求めることはありません。不審な電話には関わらないようにしましょう。

国や東京都、羽村市が公式に発表しているワクチン接種に関する情報を、こまめに確認しましょう。

「新型コロナワクチン詐欺 消費者ホットライン」をご利用ください。

— 新型コロナワクチンの接種に便乗したトラブルや悪質商法には注意が必要です! —

国民生活センターでは、「新型コロナワクチン詐欺消費者ホットライン」を開設し、フリーダイヤル（通話料無料）でワクチン詐欺に関する消費者トラブルについて相談を受け付けています。

相談受付時間 午前10時～午後4時（土・日・祝日を含む）
相談特設番号 フリーダイヤル：0120-797-188
（なくな いやや）

※おかけ間違いにご注意ください。
※「050」から始まるIP電話からはつながりません。
※多くの相談を受けるため、電話がつながりにくい時間帯があります。



新型コロナワクチン詐欺
消費者ホットライン

0120-797-188

羽村市コロナワクチンコールセンターが開設されています。
接種会場や接種までの流れなど、羽村市のワクチン接種に関するご質問やご相談を受け付けます。
TEL0570-030207 受付時間：土曜日・日曜日・祝日を除く午前9時～午後5時

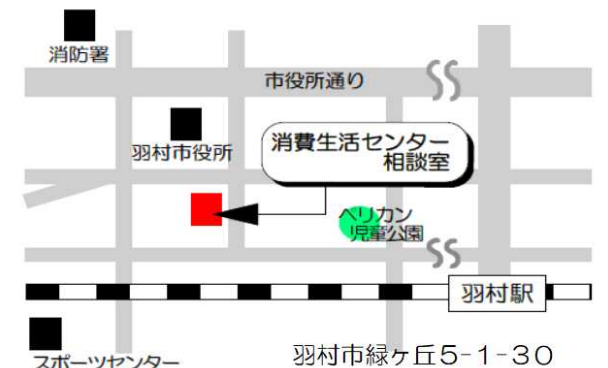
ひとりで悩まず、まず相談！
専門の相談員がお話を伺います。

【相談日・相談時間】
月～金曜日
午前9時30分～正午
午後1時～3時30分

TEL (042) 555-1111 ㊦ 641

ご相談は、
なるべく電話をご利用ください。

新型コロナウイルス
感染予防のため、
来所の際は
マスクの着用を
お願いします。



1月28日（木）

開催を予定していた第3回消費生活講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためネット配信のみに変更し、同日、第4回消費生活講座の収録を行いました。ぜひテレビはむらで御覧ください。

第3回消費生活講座

あなたもエコカル「エコ・クッキング」

メニューは
・カラフルビビンバ丼 ・わかめスープ
・きゅうりのナムル ・黒ごまあんスティック
YouTube
「テレビはむら No. 1423」

第4回消費生活講座

羽村の野菜をサッとCooking 高糖度の「にんじん」「キャベツ」編

メニューは
・キャベツとサバ缶の Pasta ・とんぱい焼き
・キャベツたっぷりクリームシチュー
・にんじんご飯 ・にんじんラバ
・にんじんと豚肉の中華風
YouTube
「テレビはむら No. 1427・1429」

「あれ、何かがおかしい！」
「あれ、何かにおかしい！」
と思っただけから、強い臭気による、激しい不快感と吐き気に襲われました。」
これを機に体の不調はますますひどくなっていき、外出先ですれ違つ人の衣類や、自宅にあるティッシュ



ある日突然

「香りの」
その見えない存在が健康を書し、日常生活に支障を来すほど悩まされている人がいます。
羽村市在住の50代女性もそのひとり。「突然です。近隣のベランダから漂ってくる洗濯物の『臭い』に、『あれ、何かがおかしい！』」

空気中を漂う「香り」という見えない存在

あなたは...
こうがい「香害」を知っていますか？

香り

嗅覚に作用するニオイ物質は、自然のものや人工合成のものがあります。その中で、人が好ましいと感じるニオイを「香り」と表現します。
「香り」は、人が起こす行動を変えられることが科学的に立証されてきました。実際に「良いニオイ」がもたらす影響は、*意識水準（覚醒、鎮静）への作用
*疲労の回復、疲労低減
*作業効率の向上、ストレス緩和
*入眠導入、眠気防止、睡眠改善
*皮膚状態改善、免疫系に対する効果、痩身効果などです。

「香りの」は、人が起こす行動を変えられることが科学的に立証されてきました。実際に「良いニオイ」がもたらす影響は、*意識水準（覚醒、鎮静）への作用
*疲労の回復、疲労低減
*作業効率の向上、ストレス緩和
*入眠導入、眠気防止、睡眠改善
*皮膚状態改善、免疫系に対する効果、痩身効果などです。

「香害」の情報を、どれくらい「自分ごと」として生かしているでしょうか。自らの体験を語ってくださった方の「不安でした。」というその言葉に、答えが集約されています。圧倒的な量の中に埋もれがちな大切な情報を、私たちは見逃してはいないでしょうか。「だれにとっても暮らしやすい社会」の構築は、消費者である私たちの日々の取捨選択に託されています。

自分ごと

「香害」を知っていますか？

香料

や印刷物、洗剤等の「臭い」に、心も体も反応するようになっていったそうです。「近隣の医療機関や行政の情報などから解決を試みたものの、『臭い』は行く先を遮る壁のように目前に立ち上がり、しばらくの間、ストレスや不安から開放されることはありませんでした。」
今は、できるだけ身の回りから「臭い」を除外した生活を続け、漢方や鍼による治療、行動療法による「良い香り」と感じる体験を増やしているとのこと。自らの行動を変えることでしか対処の方法がないのです。

香料の香料原料は、そのほとんどが石油化学工業や石炭化学工業、パルプ工業などから大量に入手できる化合物です。
その香り成分が鼻の中に入ってくると、嗅上皮に約1000万個あるセンサーが感知し、その電気信号が脳に送られ、記憶をつかさどる海馬や感情に関わる扁桃体などが複雑に関わり、様々な影響を及ぼします。さらに、柔軟剤に含まれているマイクロカプセル（香料や抗菌剤を詰められた微小のカプセル）が壊れる時に空中に放散される、イソシアネート類やホルムアルデヒドが問題になっています。

ご注意ください

日本石鹸洗剤工業会は、「柔軟剤を選ぶ・使うときは、周囲にも配慮ください。」と呼びかけています。各メーカーも、「柔軟剤は使いすぎに注意し、使用量の目安を守ってお使いください。」と、ホームページや製品にメッセージを掲載しています。
購入の際には、このような注意書きや成分などを確認するようにしましょう。

「はむら」エコアクション・ポイント

歩く・乗る・賢く使う・買う・参加する
5つのアクションで**素敵なECO商品**をGet!

ポイントカードは市役所西庁舎2階環境保全課窓口で配布中です。



ポイントカード

詳しくは
羽村市産業環境部
環境保全課環境係へ

Tel (042) 555-1111(内)224

無料DVD・本貸出しています。消費生活センター1階消費生活係にお声かけください。



蔵書の整理が終わりました!

今だからじっくり観たいおすすめ版DVDです



「くらしのちを守る『消費者』としてぜひ知っておきたい!」
...をテーマに資料を揃えています。

私たちが参加したい!



羽村のSDGsマップを作りたいな~

「運営委員」は市民です 市から委嘱され、2年間活動します

今から約50年前、「子どもたちに安全な食を!」と切実に願うおかあさんたちの、消費者としての熱気あふれる活動から「羽村市消費生活センター」は誕生しました。

「情報が溢れている今だからこそ正確な情報をできるだけ多くの方と共有しなければ」と、センターだよりの発行や、保育園や小学校に出向いて授業を行うなど、多様なイベントを企画・開催してきました。

アイデアを募集します!

令和3年度は、「消費生活センターの新しいスタイル」について考える会が発足し、みんなが参加できる活動について検討します。

みなさんからの斬新なアイデア・ご意見をお待ちしています。

New羽村市消費生活センターの「発信」「発進」に様々な角度でご参加ください

希望あふれる未来のために!